

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の分析〔小学校・国語〕

調査結果概況

自校の結果を記入しましょう。

分類	区分	国語A				国語B			
		対象設問数	平均正答率(%)			対象設問数	平均正答率(%)		
全体		15	全国 74.8	県 74	自校	9	全国 57.5	県 56	自校
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	69.2	69.6		3	64.9	64.8	
	書くこと	2	60.6	61.1		5	53.4	51.8	
	読むこと	3	70.2	70.8		3	49.2	47.3	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	78.0	77.1		0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				3	41.7	39.5	
	話す・聞く能力	1	69.2	69.6		3	64.9	64.8	
	書く能力	2	60.6	61.1		5	53.4	51.8	
	読む能力	3	70.2	70.8		3	49.2	47.3	
	言語についての知識・理解・技能	11	78.0	77.1		0			
問題形式	選択式	9	71.7	71.9		5	64.6	64.0	
	短答式	6	79.4	77.5		1	69.2	69.0	
	記述式	0				3	41.7	39.5	

成果と課題

県の結果と比較しながら各校における成果と課題をまとめ、4月からの取組を見つめ直してみよう。

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の情景を捉えることができている。〔A4一〕 ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができている。〔A5アイ〕 ・目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことができている。〔B1一〕
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を正しく書くことに依然として課題のあるものがある。〔A7(1)〕 ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。〔B2三〕 ・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がある。〔B3三〕

設問ごとの解答状況

【解答類型票】各設問について、解答類型ごとの反応率を示しています。

誤答や無解答率が高い設問に着目すると授業改善のヒントが見えてきます！

国語 A

1 段目：山梨県（公立）の割合 2 段目：全国（公立）の割合（%）

※太字かつ下線付きの箇所の類型が、正答を表す。

問題番号	問題の概要	解答類型									無解答
		1	2	3	4	5	6	7	9		
1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	7.3	6.7	<u>69.6</u>	16.3					0.0	0.1
		7.2	6.3	<u>69.2</u>	17.1					0.0	0.1
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	0.9	<u>81.3</u>	17.0	0.6				0.1	0.1	
		1.1	<u>79.7</u>	18.4	0.6				0.1	0.1	
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	8.5	22.6	26.6	<u>40.9</u>				1.3	0.2	
		9.0	22.0	25.8	<u>41.5</u>				1.4	0.3	
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	<u>72.9</u>	10.9	4.8					11.0	0.4	
		<u>74.4</u>	10.2	4.4					10.6	0.5	
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	4.3	9.0	<u>82.1</u>	4.2				0.0	0.4	
		4.5	10.3	<u>79.4</u>	5.3				0.1	0.5	
4二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する	<u>57.3</u>	6.1	5.8	30.0				0.0	0.7	
		<u>57.0</u>	7.0	6.1	29.2				0.1	0.7	
5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（三度目の正直）	5.4	4.5	<u>89.4</u>					0.0	0.7	
		5.6	3.6	<u>90.0</u>					0.1	0.8	
5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する（もちはおもち屋）	12.0	<u>82.3</u>	4.7					0.1	0.9	
		10.9	<u>83.6</u>	4.4					0.1	1.0	
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	<u>71.4</u>	3.6	4.7	18.6				0.0	1.6	
		<u>71.1</u>	3.6	4.8	18.8				0.0	1.6	
7 (1)	漢字を書く (参加たいしよう)	<u>40.0</u>	1.7	26.8	1.8				18.6	11.2	
		<u>42.0</u>	3.0	24.2	1.8				18.3	10.6	
7 (2)	漢字を書く (4年生のきぼう者)	<u>80.3</u>	3.9	7.3					3.8	4.7	
		<u>80.0</u>	4.1	7.1					4.2	4.6	
7 (3)	漢字を読む (申しこみ期限)	<u>94.3</u>	2.0	0.2					0.5	2.9	
		<u>94.5</u>	1.6	0.2					0.7	3.0	
7 (4)	漢字を読む (事務室前)	<u>85.1</u>	10.1	0.5	0.6	0.1	0.0	0.3	0.2	3.0	
		<u>88.8</u>	6.6	0.4	0.4	0.1	0.0	0.2	0.4	3.0	
7 (5)	漢字を書く (箱がおいてあります)	<u>72.0</u>							14.2	13.8	
		<u>76.8</u>							11.4	11.8	
7 (6)	漢字を読む (指示)	<u>93.6</u>	1.9	0.5					0.9	3.0	
		<u>94.5</u>	1.3	0.4					0.8	2.9	

国語 B

問題番号	問題の概要	解答類型									無解答
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	3.8	9.1	<u>77.3</u>	9.3					0.0	0.5
		4.1	8.6	<u>77.2</u>	9.6					0.1	0.5
1二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	<u>9.7</u>	<u>28.1</u>	<u>31.2</u>						27.2	3.8
		<u>10.6</u>	<u>28.9</u>	<u>29.7</u>						27.0	3.8
1三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く	<u>48.1</u>	2.4	1.9	11.5	20.9	2.7	5.8	1.7	2.4	2.7
		<u>48.4</u>	2.1	1.7	11.7	22.4	2.2	4.5	2.6	2.0	2.6
2一	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	19.2	3.2	7.0	<u>70.1</u>					0.0	0.5
		18.9	3.4	6.2	<u>70.8</u>					0.1	0.7
2二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	5.1	10.8	<u>70.1</u>	10.6					0.1	3.3
		5.1	9.7	<u>70.9</u>	11.0					0.1	3.2
2三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の【イ】に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	<u>31.1</u>	0.0	5.6	25.1	6.4	10.1	2.0	9.6	7.3	2.7
		<u>33.0</u>	0.0	5.4	25.7	6.4	8.7	1.7	9.8	6.5	2.8
3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、【A】に当てはまる言葉として適切なものを選択する	13.0	<u>74.7</u>	4.8	4.7					0.1	2.7
		11.8	<u>75.9</u>	5.0	4.6					0.1	2.6
3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	<u>27.9</u>	7.7	42.4						18.6	3.4
		<u>28.0</u>	7.4	43.9						17.6	3.2
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	<u>26.9</u>	<u>12.5</u>	0.5	1.0	21.1	4.7	2.2		9.6	21.4
		<u>30.2</u>	<u>13.6</u>	0.4	0.7	21.0	4.8	1.8		8.2	19.4



先生方で話し合って書きましょう。

① 自校の【解答類型票】を見ましょう。

② 課題が見られる設問はどれですか？

その設問で反応率が高い解答類型に着目します。

問題番号

解答類型

(例) 問題番号 B3三 解答類型 5と6

③ その設問の解答類型を見ながら、授業改善を考えます。

➡ 次ページへ

授業改善に向けて～誤答に着目する～

正誤だけでなく、児童の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目し、学習指導の改善・充実を図りましょう。

1. 例えば、B3三を見てみましょう。

3

大岩さんの学級では、あまんきみさんが書いた「きつねの写真」という題名の物語を読み、それが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、【話し合いの様子の一部】と【話し合いの様子の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ
 こんど山に、松ぞうじいさんとび吉と二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】①・②・③・④・⑤の内容は、あとの【話し合いの様子の一部】で取り上げられます。

【話し合いの様子の一部】

あまんきみこ「きつねの写真」を読んで、心に残ったところはどこかな。

原 (③を示しながら)「あけの木の木がいっせいにざざっとゆれてよみました」というところで A 感じがすると思ったんだけど。

大岩 そうだね。 A ことといえば、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。

田中 二人を写したはずの写真にきつねが写っていたんだから、きつねだよ。

原 ④からそう思うの。

田中 (④を示しながら)「山野さんは、むかいあったふたりをばちりどうつしました」とあるでしょ。

横山 そうだね。それに、(⑤を示しながら)「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。

原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。

大岩 きつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。

田中 (②を示しながら)「ここで、松ぞうじいさんが『ついできなせえ』と言っているところがあるでしょ。私は、ここからきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。

原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。

田中 そうそう。

横山 (①を示しながら)「ここにもあるよ。『人間にうちとられたり』と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、『人間に』とか『うちとられた』とは言わな

田中 いと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

さ (話し合いが続く) さ

B

【話し合いの様子の一部】の中の **B** のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- [] の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

この問題のような学習は、例えば、第5学年「大造じいさんとガン」の授業で行います。
 〈すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう〉
 感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して読む。



◎第5, 6学年の指導事項が小学校のゴールです。ゴールに到達するには、低学年からの系統的な指導の積み重ねが重要です。今後の指導の見通しを持つために、次ページ以降に気を付けて授業を構想します。

2. 反応率の高い誤答に着目します。

類型5, 6を合わせると, 25.8%で反応率が高い。

問題番号	問題の概要	解答類型									無解答	
			1	2	3	4	5	6	7	8		9
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	県	26.9	12.5	0.5	1.0	21.1	4.7	2.2		9.6	21.4
		全国	30.2	13.6	0.4	0.7	21.0	4.8	1.8		8.2	19.4
		自校										

自校の数値を記入し、県や全国の数値と比べてみましょう。

3. 誤答から児童の実態をつかみます。

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。

- ① [] の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いている。
- ③ 60字以上、100字以内で書いている。

解答類型5, 6 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの

(例) 「何回も熱心にそういわれて、松ぞうじいさんは、こまったように首をふっていました」と書いてあるところから、きつねだとわかるよ。

- ・松ぞうじいさんやとび吉がきつねであることが分かる叙述を取り上げることはできているが、その叙述を基にして、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけについて書くことができていない。

4. 児童の実態を踏まえた学習指導を考えます。

(具体的な学習指導の例)

- ・低学年、中学年で学習した、場面の展開に沿って、登場人物の言動や心情の変化を捉えて読むことを再確認する。
- ・高学年では、登場人物の相互関係、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに着目して読む。
- ・複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読む。
- ・「どこからそう考えたの」「どうしてそう考えたの」という問い返しの意図を明確にして指導する。
- ・「どこからそう考えたのか」「どうしてそう考えたのか」を交流することで、それぞれの考えがそれぞれの体験や読書経験に基づいていたり、他の叙述と関係付けられていたりすることに気付くように指導する。

友達の考えも聞いてみたいな



4年「白いぼうし」〈登場人物の人がらをとらえ、話し合おう〉では…

松井さんの人柄を捉えるために、登場人物の言動(低学年)、心情の変化などに着目して読む。

2年「お手紙」では…

自校の児童の実態を踏まえ、どんな学習指導が考えられますか。低・中・高学年ブロックごとに話し合ってみましょう。

